

平成24年度の決算状況報告

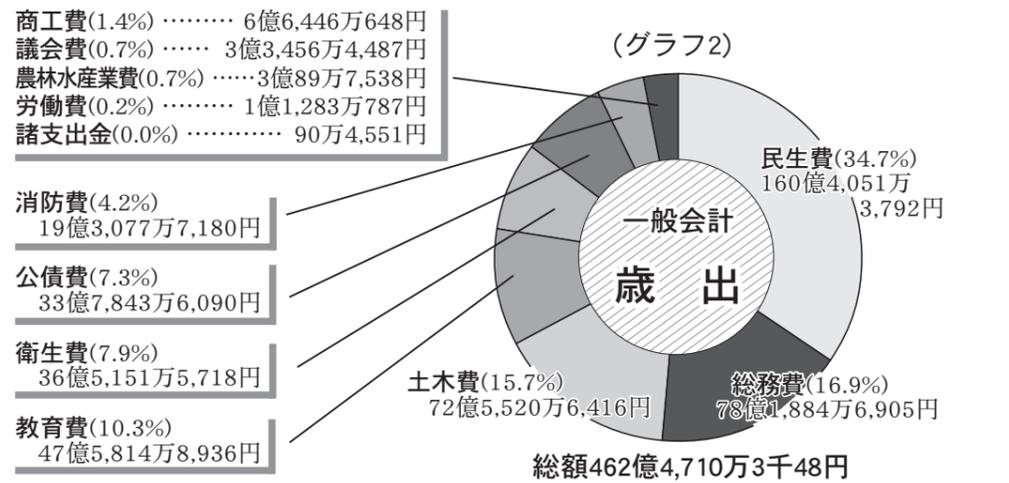
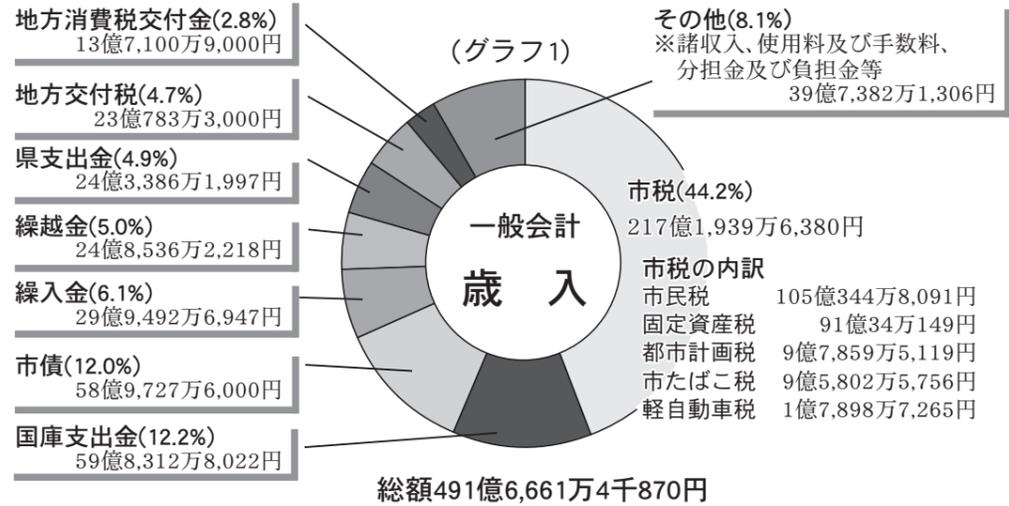
平成24年度の一般会計決算がまとまり、第3回定例市議会で認定されました。歳入歳出総額は表1のとおりです。今月は、皆さんの税金がどのように使われているか、お知らせします。

歳入

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。市税は、景気の回復のきざしが見え隠れする中で、個人市民税や法人市民税が増となったものの、評価替えの影響による固定資産税の減などにより、前年度に比べ2.2%の減となりました。また、市街地再開発事業に係る国庫補助金の増などにより、決算総額は前年度に比べ4.9%の増となりました。

歳出

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金で、前年度に比べ4.2%の増となりました。グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、



■性質別内訳 (表2)

項目	金額
人件費	94億2,706万5千円
扶助費	96億131万7千円
公債費	33億8,240万9千円
普通建設事業費	68億7,061万円
災害復旧事業費	1億4,626万5千円
その他の経費(物件費など)	168億1,943万7千円
合計	462億4,710万3千円

■歳入歳出総額 (表1)

区分	歳入	歳出
一般会計	491億6,661万4,870円	462億4,710万3,048円
特別会計		
国民健康保険	184億9,423万2,863円	173億4,463万86円
狭山市駅東口土地区画整理事業	4億9,214万3,542円	4億2,404万6,431円
介護保険	78億4,511万6,740円	75億2,687万9,415円
後期高齢者医療	14億6,558万4,371円	14億4,179万8,798円
合計	774億6,369万2,386円	729億8,445万7,778円

問合せ財政課へ内線7113

■狭山市の24年度の決算を家計簿に例えると
市の決算と家計では、単純な比較はできませんが決算額を1万分の1の家計簿にしてみました。

収入	
給料(市税)	217万円
実家からの援助(地方交付税、国・県支出金など)	135万円
貸地の賃貸料(使用料・手数料、諸収入)など	26万円
銀行からの借入れ(市債)	59万円
貯金の取崩し(繰入金)など	55万円
合計	492万円

支出	
食費(人件費)	94万円
医療費(扶助費)	96万円
ローンの返済(公債費)	34万円
光熱水費、日用品など雑貨の購入(物件費)	73万円
家の増改築、車の購入など(普通建設事業費、災害復旧事業費、維持補修費)	72万円
家族への仕送りなど(補助費等、貸付金、繰出金など)	72万円
将来に備えた貯金など(積立金)	21万円
合計	462万円

差引額30万円の黒字になりました。(492万円-462万円=30万円)残ったお金は、いざという時に備え計画的に貯金しています。安全で安心した生活を送るために銀行などから計画的に借入れを行っています。

貯金の残高(基金残高)	98万円
ローンの残高(市債残高)	380万円

次いで総務費、土木費、教育費の順になっています。また、市民一人当たり換算した歳出の総額は29万7千913円となりました。

表2は、歳出を性質別に表したものです。前年度に比べ、義務的経費は1.2%の減、投資的経費は71.2%の増、その他の経費は4.5%の減となりました。

表3は、重点事業の主な決算で、市民参画(協働)推進事業などのソフト事業をはじめ、祇園保育所の移転に向けた祇園保育所建替事業、消防広域化推進事業、狭山市駅上諏訪線整備事業などさまざまな事業を行いました。

■重点事業の主な決算 ※万円未満切り捨て

事業名	金額
(環境共生)	
稲荷山環境センター設備改修事業	9,331万円
住宅用太陽光発電システム設置補助事業	1,000万円
(健康福祉)	
地域福祉活動環境整備事業	9,735万円
祇園保育所建替事業	1億3,714万円
(都市基盤)	
狭山市駅西口公益施設取得事業	30億3,272万円
狭山市駅上諏訪線整備事業	8,769万円
(産業経済)	
企業立地促進事業	9,918万円
農業振興事業	2,153万円
(教育文化)	
小学校校舎空調設備改修事業	4億5,824万円
小中学校校舎等耐震補強事業	4億38万円
(市民生活)	
消防広域化推進事業	2億3,967万円
市営住宅鶴ノ木団地建替事業	3,134万円
(計画推進)	
市民参画(協働)推進事業	309万円
狭山元気大学事業	1,262万円

平成24年度 公営企業会計決算状況 問合せ経営課へ内線2721

平成24年度の水道事業会計及び下水道事業会計の決算が認定されましたのでお知らせします。

水道事業会計

●収益的収入及び支出

収入	支出
30億2,310万3,057円	28億500万2,893円

未処分利益剰余金1億9,477万4,078円(税抜き)は、減債積立金に積み立てました。

●資本的収入及び支出

収入	支出
1億538万9,870円	7億8,000万5,387円

不足額6億7,461万5,517円は損益勘定留保資金などで補てんしました。

下水道事業会計

●収益的収入及び支出

収入	支出
28億2,821万1,919円	26億4,926万7,415円

未処分利益剰余金2億9,136万4,372円(税抜き)の内、1,000万円を減債積立金に、2億円を利益積立金に積み立てました。

●資本的収入及び支出

収入	支出
8億2,561万6,440円	19億9,005万7,926円

不足額11億6,444万1,486円は損益勘定留保資金などで補てんしました。